

5月 給食だより

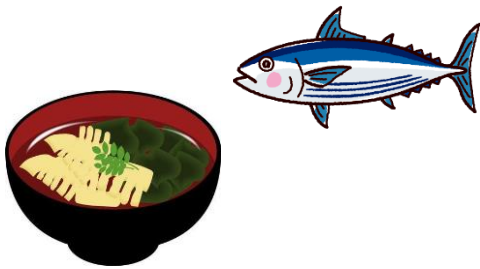
令和6年5月号
都立墨田特別支援学校
校長 朝日 滋也

5月5日は、「端午の節句」、そして「こどもの日」。

5月5日は、「端午の節句」という男の子の健やかな成長を祝う五節句の一つです。また、この日は、国民の祝日である「こどもの日」でもあります。こどもの日は、第二次世界大戦の終戦後、昭和23年7月20日に制定されました。これは、それまで男の子の健やかな成長を願う日であった端午の節句を、すべての子供の健やかな成長を願う日として祝日とする請願が国会でなされたことがきっかけです。これにより、端午の節句である5月5日がこどもの日となりました。本来は、こどもの日と端午の節句は別の行事だったのです。

この日は、こいのぼりを飾り、「ちまき」や「かしわもち」を食べたり、厄を払うために香りの強い菖蒲湯に入ったりする風習があります。

また、縁起物として出世魚の鯉や鰯を食べる風習もあります。



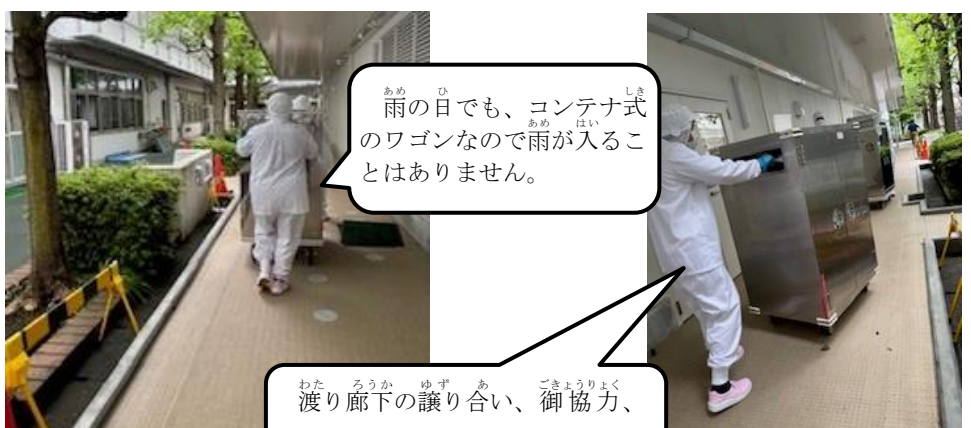
給食では、少し早いですが、5月2日に、鯉を使った「かつおめし」、また、真すぐに伸びていくという特性やその成長の早さから、「大きく成長できる」という思いを込めて、たけのこを使った「わかぢ汁」が登場します。

新・給食室の様子 ~ 渡り廊下を通して運ばれる給食 ~

給食室が仮設校舎に移転してから1か月が経ちました。様々な方の御協力のもと、大きな混乱もなく給食提供が行えています。中でも、仮設校舎の給食室で作った給食をコンテナ式のワゴンに載せて、既存の校舎の教室に給食を運ぶ作業では、25台のワゴンが渡り廊下を通るので、特に高等部の皆さんや中学部3年生の皆さんには通行時間や渡り方のマナーを守ってもらい、スムーズに運搬ができています。



ワゴン室からワゴン出発!!



雨の日でも、コンテナ式のワゴンなので雨が入ることはありません。

わた 渡り廊下の譲り合い、御協力、ありがとうございます。